

出発の春 喜びと期待を胸に



南山城村立南山城小学校



府立京都すばる高等学校

府立京都すばる高等学校は、京都府で初めて「情報科学科」を新設。また、府内初の民間人校長の場敏信先生が初代校長として着任し、新しく出発しました。

南山城村では、**村立大河原小学校、田山小学校、高尾小学校の3校を統合し、村立南山城小学校として、新たにスタートしました。**

未来型の教育情報ネットワーク誕生

～新しい「京都みらいネット」の運用開始～

平成15年4月、府内の公立学校を結ぶ京都府教育情報ネットワーク(愛称「京都みらいネット」)が生まれ変わりました。

新しい「京都みらいネット」は、「京都デジタル疎水ネットワーク(仮称)」の幹線を活用し、高等学校における必修教科「情報」の導入や情報化社会の一層の進展に対応するため、全国で初めて全府立学校を100Mbpsの超高速光ファイバー専用線で接続するとともに、有害情報の除去等学校で安心して利用できる環境も整備しています。

また、電子メールの送受信やホームページの閲覧だけではなく、「遠く離れた複数の学校とのテレビ会議」「大学等の公開講座の受講」「動画教材を活用したわかりやすい授業」「学習成果のマルチメディアによる紹介」などといった新たな活用も可能となります。

今後は、こうした活用をとおして、情報化社会を生きる子どもたちに膨大な情報を自ら選択・処理し、発信できる能力を育成していきます。



平成15年度新規採用教員

民間企業等勤務経験者を積極的に採用

～ 多様な経験を教育の中に～

民間企業等で培った多様な経験を学校教育の中に生かしてもらおうと、新たに平成15年度京都府公立学校教員採用選考試験から民間企業等の勤務経験を有する人を対象とした「社会人特別選考」を実施しました。

200名を超える応募があり、この中から、20名が先生として採用され、4月1日に行われた「新規採用教職員辞令交付式」で武田暹教育長から辞令が交付されました。

この先生たちの社会人経験は航空会社の客室乗務員や旅行代理店の営業職、銀行員やエンジニアなど様々です。これから赴任校で、今までの経験を生かして、子どもたち一人ひとりの個性が輝く教育を推進してくれることと期待しています。



平成15年度 教育委員

京都府教育委員会では、学校週5日制の完全実施や新学習指導要領への移行などによる、皆様の教育に対する関心と期待に応えられるよう、『『京の子ども、夢・未来』プラン21』や「まなび教育推進プラン」を策定しました。非常に厳しい財政状況ではありますが、京都ならではの教育改革を積極的に進めるため、このプランに基づく重点施策に必要な事業費を、前年度に比べて約16億円増額しました。

予算総額 2,019億7,400万円 当初比 12億4,100万円 0.6%減
(うち事業費予算 15億9,730万円増 14.4%増)

● 学校教育の充実



学力充実総合対策

[7,410万円]

京都・夢未来校 24校の指定

[1,050万円]

国語や算数など基本教科について、分かりやすい教え方や学習教材の研究・開発を行い、学校の授業や指導の充実に生かします。

基礎学力充実実践研究校 40校の指定

[4,000万円]

子どもたちが苦手な分野について、自ら進んで学習する力を身に付けるよう教え方や学習教材を研究・開発し、個人指導を充実します。

小学校基礎学力診断テストの実施

[1,100万円]

小学校4・6年生の全児童を対象としたテストによって、子どもたちの理解度を見極め、効果的な授業・指導方法の改善を進めます。

中学校学力診断テストの実施

【新規】[1,260万円]

中学校2年生の全生徒を対象としたテストによって、子どもたちの理解度を見極め、効果的な授業・指導方法の改善を進めます。

小学校低学年指導充実《まなび教育推進プラン関連》

[7億8,064万円]

学校生活を送る上で必要な生活習慣や学習習慣をしっかりと身に付けさせるため、31人以上の学級について教員2人によるきめ細かい指導を行います。
(小学校1年生は全学期、2年生は1学期)

高等学校普通教室冷房設備整備

【新規】[10億2,300万円]

府立高校の普通教室を3年計画で完全冷房化し、夏場でも快適に学習できる環境を整えます。また、冷房化にあわせて、各学校で目標を定めて省エネやごみの減量に取り組む活動を進め、生徒の環境問題に対する意識の高揚を図ります。

教職員評価制度導入

【新規】[4,000万円]

子どもたちを指導する教員の資質を一層高めるため、教員一人ひとりの能力や実績を適正に評価して、人事配置や研修等に生かす新しい評価システムを検討します。

盲聾養護学校医療専門職派遣

【新規】[150万円]

医師や看護師から専門的な指導や助言を受けながら、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせたきめ細かい教育を一層進めていきます。

養護学校・地域等連携推進

【新規】[100万円]

養護学校と地域の福祉・医療等の機関が連携を深め、障害のある子どもたちやその保護者、小中学校教員に対する教育相談や支援を通じて、子どもたちの地域生活をサポートしていきます。

舞鶴市立中筋小学校

「こんな学校、こんな子どもに!」
～学校・家庭・地域とともに子どもたちの
生きる力をはぐくむ学校支援ネットワークの取組～



中筋小学校支援ネットワークでは、PTAや地域の支援を得て、子どもたちに真の「生きる力」を身につける活動を推進しています。

地域からの教育活動参加者「まちの先生」の導入、学校の教育活動や学校支援ネットワークの取組についての意見やアイデアをいただく「学校支援モニター制度」、広報誌「話と和と輪」の発行、そして、休日の体育・文化両面にわたる体験活動の充実等が主な取組です。

本校では、さまざまな人と関わりながら、生き生きと活動する子どもたちや教育活動を自然体で支援しているPTA・地域の方々の姿が見られるようになりました。何よりも学校の中に温かく伸びやかな雰囲気が漂うようになったことに大きな手応えを感じています。

きょういく

きた

委員会当初予算の概要

●心の教育の充実

心のサポート推進

[1億9,162万円]

心に悩みを持つ子どもたちや保護者の相談体制の整備として、中学校及び高校に配置するスクールカウンセラーを増員するなど、総合的なサポート体制の充実を図り、問題行動などの未然防止や早期解決に努めます。

読書活動推進

【新規】[130万円]

子どもたちの読書離れに対応するため、「京都府読書活動推進計画」を策定するとともに、学校図書館の活動や公共図書館との連携、家庭での働きかけなど、子どもたちが自発的に読書活動を行えるように環境を整備します。



●地域の教育力の充実

ゆめ体験ネット推進

《まなび教育推進プラン関連》 [4,733万円]

府内市町村や関係団体と連携し、体験活動やボランティア活動等様々な活動に関する情報の収集・提供を行うとともに、障害のある子どもたちも参加しやすい体験活動の場を増やします。

土曜子ども活動支援

《まなび教育推進プラン関連》 【新規】[2,128万円]

学校施設を活用した土曜日の体験活動・学習活動を充実して、地域で子どもを育てる環境を整備します。

未来のトップアスリート育成事業

【新規】[2,000万円]

小学校高学年から高校生のジュニア世代を対象に、有名選手の実技指導や講演等を通じて、スポーツの楽しさを啓発しながら競技力の向上を図ります。

●府立学校施設・設備の計画的整備

府立学校施設整備費

[30億7,000万円]

子どもたちが活動する校舎や体育施設などについて、計画的な改修や耐震補強等を実施するなど、安心・安全かつ快適な教育環境の整備を図ります。

新設養護学校建設

【新規】[8億2,800万円]

舞鶴市に養護学校を建設し、子どもたち一人ひとりの障害に対応したきめ細かな教育を地域とともに進めていきます。

府立学校施設木材活用推進

【新規】[3,900万円]

府立学校に府内産間伐材を利用した机や椅子などの備品を配置し、子どもたちが地球環境保全の大切さを実感できる学習環境を整備します。

●不況・雇用対策

京の伝統工芸品教育活用推進(実演・体験実習)

[2,100万円]

公立小中学校、府立学校、公民館などで府内の伝統工芸品の体験実習や職人による製作実演を通じ、京都ならではの教育の実施と郷土を愛する心を育てます。

府立高校授業料減免の特例措置

厳しい雇用・経済情勢を踏まえて、経済的な事情で生活困窮となった家庭の生徒の修学を保障するため、所得基準額を大幅に緩和して授業料を全額免除します。

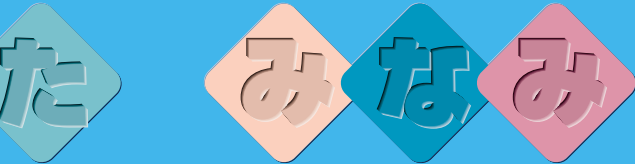


京鹿の子絞の体験(府立婦人教育会館)

高等学校等修学資金貸与

[1億8,113万円]

勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な高校生などに、無利子の修学資金の貸付けを行い、教育の機会均等を図ります。



美山町立小学校

テレビ会議でいっしょに学ぼう ～美山町の小学校の取組から～

美山町の小学校では、情報機器を効果的に活用し、様々な学習活動を進めています。

町が「環境教育推進モデル市町村」に指定されたことを受け、ホタル調べをはじめ、各校区の環境調査を実施。その結果を「環境教育フォーラム」でコンピュータを使って発表したり、テレビ会議で情報交流したりしました。

また、教科学習でも、テレビ会議方式の合同授業に取り組んでいます。14年度は町立大野小学校と町立鶴ヶ岡小学校が、1年生の「ながさくらべ」などの算数で実施。一緒に学ぶことで、様々な考えにふれて学習を深めることができ、表現力や学習意欲も高まってきました。

空間を超えて交流ができるテレビ会議方式の効果的な活用について研究を深めているところです。



シリーズ 文化財

守り伝えたい文化財

京都府教育委員会では「京都府文化財保護条例」の趣旨に沿って文化財を調査し、歴史上、芸術上、学術上価値の高い府内の文化財の指定・登録等を進めています。

平成14年度は新たに15件を府の文化財として指定等し、昭和57年度の条例施行以来、その累計は643件になりました。今回はこのうちの2件を紹介します。

指定（美術工芸品・彫刻）

ちゅうがんえんげつざぞう

木造中巖円月坐像

・所在地：京都市東山区、所有者：霊源院（建仁寺塔頭、京都国立博物館寄託）
時代：南北朝時代

中巖円月（1300～75）は、臨済宗の禅僧で、正安2年（1300）鎌倉に生まれ、元に渡った後、諸寺の住職を歴任し、延文7年（1362）に建仁寺の住職となり、応安8年（1375）に亡くなりました。

この像は、円月の生前もしくは亡くなった直後の姿を彫刻したもので、円月の迫真性を存分に伝え、鎌倉肖像彫刻の伝統を伝える優品です。



登録（無形民俗文化財）

やまぐにたいぐんがく

山国隊軍楽

・所在地：京北町、保護団体：山国隊軍楽保存会

明治維新の際、山国村（現在の京北町）の農民が山国隊を組織して東征に参加し、錦の御旗を立てて軍楽を演奏しながら江戸より凱旋したことに始まります。

軍楽は、大太鼓1人、小太鼓8人、笛16人を基本構成とし、隊列には、錦旗や楽隊旗などの旗類とともに、鉄砲隊8人が加わって総勢40人ほどで、毎年、山国護国神社例祭と山国神社例祭の還幸祭に奉納されています。



府立学校に木のぬくもり

～府立学校施設木材活用推進事業～

京都府教育委員会では、地球環境保全の大切さを実感できる学習環境を整備するため、府立学校24校に府内産の間伐材を利用した図書閲覧用や食堂用テーブル、椅子、屋外ベンチなどを配置しました。

木の柔らかい感触は、落ち着きを与え、子どもたちの心の豊かさや優しさをはぐくむものと期待しています。

今後も、引き続きぬくもりと潤いのある教育環境づくりを進めます。



府立北稜高等学校

千有余年の文化と伝統を肌で感じて

～京の伝統工芸品教育活用推進事業（伝統工芸品の提供による教育活用）～

京都府では、平成14年度から3年計画で、すべての小・中学校及び盲・聾・養護学校の小・中学部の子どもたちに本物の伝統工芸品に触れる機会を提供し、文化や伝統を尊重する豊かな心や態度を育てる事業を展開しています。



八幡市立男山中学校

学校の風景を題材にした染織額をロビーに展示する学校や、5種類の伝統工芸品のセットを産業・文化・歴史などの学習教材として活用する学校もあります。また、清水焼や漆器の食器を給食で使う学校もあります。

製作した職人さんから製作工程や歴史について話を聞くなど、京都の文化や歴史もあわせて学ぶ姿も見られます。



出会いふれあいを大切に

新しい学年が始まりました。

友だちや先生との新しい出会いをした子どもたちも多かったことと思います。

新しい出会いの時、クラスでは、自己紹介で自分の名前や趣味などを話したり、ゲームをしたりします。その中で、自分について改めて考え直したり周りの人のことを知ったりします。そうして、新しい友だちをつくっていくこともあるでしょう。

今、私たちは、自動販売機やスーパーで買い物することが多く、話をしなくても生活できる毎日を過ごしています。しかし、自分が話しかけても誰も気付いてくれず、誰も話しかけてくれないとしたら……。自分の存在を認めてもらっていないようで、さみしく悲しい気持ちになるのではないのでしょうか。「おはよう」や「だいじょうぶ？」と声をかけてもらおうと、うれしく温かい気持ちになります。

誰もが一人きりではなく、多くの人たちとかかわって生きています。相手への思いやりの気持ちを忘れず、自分の気持ちや意見をきちんと相手に伝えたり、相手を理解しようとする時は、言葉はもちろんのこと、態度や表情も含めて本当の思いを聞き取ろうとしたりすることがより深い理解につながり

ます。こうしたコミュニケーションの能力を育てることも人権を大切にするためのキーワードです。

ご家庭でも、人との出会いやふれあいを大切にし、子どもと一緒に人権を大切にする態度を育てていただきたいと思います。

次の文は、小学6年生の子どもが、養護学校に通うAさんと出会った時の様子を日記に書いているものです。

Aさんのことなだけで、私たちの班は、毎朝「おはよう」とあいさつしています。

きのうのことなだけで、帰る時、前に私の班の人が二人いて、Aさんが通りかからはりました。その時、私は「あいさつするかなあ、してくれるかなあ」と思っていました。すると、

「こんにちは、さようなら」とあいさつしてくれました。もちろん私も言いました。私は、うれしかったです。それは、朝、私たちが「言って」と言って言うだけでなく、自分からAさんにあいさつをしようと思ってしてくれたのを見たからです。もうその人たちは、Aさんが仲間になったと思います。

トータルアドバイスセンター

（電話または来所）

子どもの発達、いじめや不登校などの学校教育や、子育てやしつけなどの家庭教育に関することについて精神科医や臨床心理士などが相談を受けます。

	府総合教育センター内 （伏見区）	府総合教育センター 北部研修所内（綾部市）
来所教育相談	月～金（祝 除く） 10:00～17:00（電話で予約が必要です）	
電話教育相談	毎日（祝 除く） 8:30～20:30 （☎075-612-3268） （☎075-612-3301）	月～金（祝 除く） 10:00～19:00 （☎0773-43-0390）